

平成30年6月7日

総務部防災課

平成30年度春の避難所総合訓練の実施結果について

1 実施日時等

- (1) 日 時 平成30年5月27日(日) 午前10時から12時まで
- (2) 場 所
文林中学校 校舎及び体育館
- (3) 参加者 239名
 - ① 区民防災組織 45名
文林中学校避難所運営協議会役員(45名)
 - ② 区民(体験型訓練参加) 104名
 - ③ 学校職員・PTA 9名
 - ④ 防災関係機関等(医師会・薬剤師会・歯科医師会・消防署・消防団・警察署
・手話会・アマチュア無線・日本郵便) 53名
 - ⑤ 区職員(災害対策本部員含む) 28名

2 訓練テーマ

訓練テーマは「初動対応と情報管理」とし、以下の訓練を行った。

(1) 避難所開設キットによる初動対応訓練

今回の総合防災訓練より避難所開設キットを導入し訓練を行った。キットには初動対応として発災から3時間を想定した行動手順書が入っており、避難所運営協議会スタッフはその行動手順書に沿って避難所開設及び運営に必要な行動をとった。訓練を行う過程では行動手順書をより使いやすくするための内容や掲示物の効果的な貼り出し方などの改善点等も検討しながら訓練を行った。

(2) 無線通信訓練

文京区アマチュア無線災害非常通信連絡会指導のもと、迅速かつ効率的な情報管理の方法を身につけるため、協議会スタッフが無線機を使用し情報管理の訓練を行った。受付から本部班への人数報告、炊き出し配給人数確認の際に無線機を使い、操作方法等を確認した。

また区職員は防災行政無線機を使用し、区の災害対策本部への連絡方法の確認を行った。

3 訓練内容

(1) 避難所運営訓練

避難所運営訓練、体験型訓練の二つに分けて実施する。

なお、避難所運営訓練においては、避難所開設キットを使用し、訓練を行う。

ア 初動対応訓練

- ①避難所の正門を開錠
- ②備蓄倉庫から備品取り出し
- ③区職員による災害対策本部へのメール連絡
- ④受水槽の確認
- ⑤避難者の待機、誘導
- ⑥施設内のライフラインの確認
- ⑦トイレの使用可否確認及び準備
- ⑧施設内の安全点検
- ⑨区職員による災害対策本部への連絡
- ⑩土足禁止スペースの特定
- ⑪本部及び班編成

イ 各班訓練（初動対応終了後）

- ①本部
 - ・避難所本部開設
 - ・施設内の利用計画策定
 - ・避難所運営ルール規定及び周知
- ②総務情報
 - ・受付訓練
 - ・情報掲示（妊産婦・乳児救護所への案内等）
 - ・災害時特設公衆電話設置訓練
 - ・避難者名簿作成
- ③避難者援護
 - ・居住スペース確保訓練
 - ・施設内の定期的な安全点検
 - ・避難者相談コーナー設営
 - ・プライベートテントの設営
 - ・要配慮者用スペース設営訓練
- ④救護衛生
 - ・救護所設営訓練
 - ・避難所内の衛生管理
 - ・トリアージ補助訓練
 - ・応急手当
 - ・トイレ設営訓練 マンホールトイレ・簡易トイレ
- ⑤給食物資
 - ・照明機材の保管場所確認

- ・炊き出し訓練
- ・受水槽からの給水訓練
- ・応急給水栓からの給水

(2) 体験型訓練

発災時に想定される状況の初期対応を体験した。

- ① 消火訓練 消火器、スタンドパイプ、D級ポンプ
- ② 起震車
- ③ 煙体験ハウス
- ④ 防災体験ツアー
- ⑤ 応急救護訓練 AED取扱い、心肺蘇生法

(3) 展示ブース

- ① 本郷消防署・消防団
- ② 駒込警察署
- ③ 日本郵便株式会社
- ④ 文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会
- ⑤ 文京区役所（防災課、地域整備課）

4 参加者意見（検討会及び訓練中の意見）

【避難所開設キットについて】

- ・キットを使った図上訓練を行ってきたが、実際に動いてみるとそのとおりに上手いかないう部分があった。
- ・キットを使った初動対応にはある程度効果があったと思っている。
- ・キットを使った対応では、十分な訓練を積み重ねることで確実に実施できるようにしておく必要があると感じた。
- ・キットは決まったことを実施するには有効だが、状況が刻々と変化するような事象に当たっては対応が難しい。そのため訓練を行うにあたっては継続的に改善していくことが大切になってくると思う。
- ・今後も班の皆様がキットを有効に利用していただいで訓練ができればと思う。

【訓練全体について】

- ・訓練が1回だけでなく、これからも定期的にできるように町会としても頑張っていきたいと思う。
- ・大勢の方にお越しいただいで訓練ができることは素晴らしいことだと思う。
- ・消防署や医師会の方など色々のご協力いただいで大変素晴らしい訓練になったと思う。
- ・若い人がもっと参加していただきたい。
- ・受付のところで皆さんの名前と住所を書いていただいたが、時間がかかった。
- ・おいしいレトルトの食事、物資の確認等を行うことができた。
- ・名前や所属などが分かる名札等があるとお互いのコミュニケーションが深まり、運営のしやすさが増すと感じた。
- ・施設内の利用計画は校舎をよく知っていないと決定するのが大変だと感じた。

【防災課より】（検討会にて参加者へ）

キット最大のメリットは、今回のように出た意見を次に生かすことができるという点にある。そのため今回あがった検討事項を再度見直して、行動手順書を更新し、より使いやすく分かりやすいものにして共有を図りたいと思う。

本日見ていただいたが、キットは備蓄倉庫のほうに保管させていただく。このような避難所運営訓練を通して、周知を行い皆様のご理解を得たいと思う。

今後も継続して訓練を行っていくことが必要だと思う。来年は皆さんが主体となって訓練を実施していただきますようお願いしたい。